

9月2日

敦賀発電所2号機 B原子炉補機冷却水冷却器の点検について



敦賀発電所2号機は第18回定期検査中において、2024年8月24日から原子炉補機冷却水系※1サージタンク※2の水位に低下傾向を確認しました。
 その後の調査の中で、B原子炉補機冷却水冷却器から、冷却水が海水側に漏えいしていると判断したため、当該冷却器を隔離しました。
 今後、当該冷却器を開放し点検を行ってまいります。
 本事象による環境への放射能の影響はありません。

- ※1：原子炉補機冷却水系
 使用済燃料ピット冷却系冷却器等の冷却のため、冷却水を供給する系統で、冷却水は海水により冷やされる。
 なお、冷却水に放射能は含まれていない。
- ※2：サージタンク
 冷却水の温度変化による膨張・収縮を吸収し、ポンプの入口圧力を確保するためのタンク。

げんでんふれあいギャラリー展示

◆絵手紙にしき会作品展 めぐり逢いの世界～絵手紙でかける心の橋～

10月1日(火)～10月6日(日)

絵手紙にしき会(代表:林悦子様)の44名の皆さまによる絵手紙展です。
 四季折々に移行行く花や野菜の美しさ等、個性豊かに描いた作品を151点展示しています。



◆My Twinkle Star パッチワーク教室作品展

10月15日(火)～10月20日(日)
 (最終日は15:30まで)

Viva☆Quiltパッチワーク教室(代表:上田佳恵様)の13名の皆さまによる作品展です。
 小さなパッチワーク作品や小物のポーチ・バッグ等を中心に、個性の光る作品を50点展示予定です。



お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
 フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
 開館時間 9:30～16:30 休館日 12月29日～1月3日



こちらから
 げんでんふれあいギャラリーの
 ホームページをご覧ください

イベントブース出展のお知らせ

2024年10月イベント出展情報 お誘いあわせの上、是非お越しください。

日時/イベント名	会場	内容
10月13日(日)10:00～16:00 若狭町20周年記念 「わかさSDGsウィーク」	リブラ若狭 (三方上中郡若狭町中央1-1)	・ステンドウチわ作り (数量限定のため無くなり次第終了) ・クリアランスベンチ紹介
10月26日(土)10:00～16:00 はまなびフェスタ2024 &鯖サミット2024in美浜	美浜町生涯学習センターなびあす (美浜町郷市29-3)	・写真キーホルダー (数量限定のため無くなり次第終了)
10月27日(日)9:00～17:00 原子力の科学館 あつとほうむ イベント「こどもの広場」	原子力の科学館 あつとほうむ (敦賀市吉河37-1)	・紙コップ糸電話工作 ・クリアランスベンチ紹介

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社(略称：げんでん)敦賀事業本部 立地・地域共生部
 TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町2丁目9-16

げんでんいんふおめーしょん10月号

1. 敦賀発電所の状況 (2024年10月1日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	<p>●2017年4月19日～廃止措置中(廃止措置期間：24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2015年4月 営業運転終了 ○第6回定期事業者検査中(2024年3月27日～2025年3月上旬予定) ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事(2024年10月1日～) <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
2号機(加圧水型)	<p>電気出力116.0万kW、1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1923.0億kWh</p> <p>●2011年8月29日～第18回定期検査中</p> <p>●新規制基準への適合性確認審査に係る対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 <p>=敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査に係る対応状況について=</p> <p>2023年8月31日、敦賀発電所2号機の原子炉設置変更許可申請の補正書を原子力規制委員会に提出した後、8回の審査会合、2回の現地調査が行われるなど、審査を進めていただきました。</p> <p>8月28日の原子力規制委員会において決定した敦賀発電所2号機の原子炉設置変更許可申請に関する審査書案に対して、当社は科学的・技術的意見(パブリックコメント)を原子力規制委員会に提出しました。</p> <p>当社としましては、社外の専門家の意見も踏まえながら追加調査案の具体化の検討を進めているところであり、敦賀発電所2号機の稼働に向けて取り組んでまいります。</p> <p>当社の取り組み状況等につきましては、立地自治体をはじめ、地域の皆さまへの情報発信に引き続き努めてまいります。</p>

2. 敦賀発電所3,4号機準備工事の状況 (2024年10月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。



建設予定地の状況(2024年9月24日撮影)

3. コミュニケーション活動

「敦賀まつり」に参加

9月1日～4日の4日間、敦賀市の気比神宮や中心市街地において敦賀まつりが開催されました。

当社は、げんでんファミリー（日本原子力発電(株)、原電エンジニアリング(株)）として、1日の「カーニバル大行進」、2日の「お祭り広場」、3日の「御鳳輦巡幸」、4日の「山車巡行」、「民謡踊りの夕べ」に延べ約150名が参加しました。

カーニバル大行進は、昨年度に引き続き、見に来られた皆さまがより楽しめ、笑顔になってもらえるよう、九州日向（宮崎県）地方の「ひょっとこ踊り」で参加しました。皆さまからは、「ひょっとこ踊りは面白く楽しませてもらった」とのうれしいお言葉もいただいています。

2日の「お祭り広場」では、簡単な工作や写真キーホルダーのブースを出展し、多くのご家族連れの方にお越しいただきました。

4日は、敦賀まつりの最後を締めくくる「民謡踊りの夕べ」に参加しました。

当社は、今後もより一層、地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域の一員として行事への参加や様々なコミュニケーション活動に積極的に取り組んでまいります。



9/1「カーニバル大行進」参加の様子



9/2「お祭り広場」ブース出展の様子



紙コップ糸電話工作教室の様子



写真キーホルダー撮影の様子



9/4「民謡踊りの夕べ」の様子

4. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2024年度30コースの公開研修開催を予定しており、以下はお申込み期限近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるSAF EFR (Systematic Approach For Error Reduction)を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力産業の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	11月13日(PM) ～ 11月14日 (1.5日間)	10月4日
リスクコミュニケーションコース	リスクコミュニケーションとは、リスクについて関係者間で情報や意見を交換し、その問題についての理解を深めたり、お互いにより良い決定ができるように合意を目指したりするコミュニケーションを言います。この研修では、講義やロールプレイング(役割演技)、参加者間の意見交換を通じて、リスクコミュニケーションのあり方、方法などを学びます。 原子力広報については、主に当社が実践している事例を用いて説明します。 リスクコミュニケーションや広報は原子力に限った話ではありませんので、その手法を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお勧めします。講義の一部やロールプレイングは専門家を招いて学習します。	11月14日 ～ 11月15日 (2日間)	10月4日
低圧開閉装置メンテナンスコース	発電所や工場などの配電盤に使われている低圧開閉装置の仕組み、動作や点検方法について学びます。	11月21日 ～ 11月22日 (2日間)	10月11日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所の事故については、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	11月27日 ～ 11月28日 (2日間)	10月18日
原子力新技術コース	世界の原子力情勢と今後の展望、次世代炉の開発動向などについて学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電の知識を有していることが望ましい。	11月29日 (1日間)	10月18日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	12月2日 ～ 12月3日 (2日間)	10月23日

公開研修に関するお申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

